

Meiji Seika ファルマ株式会社

報道関係各位

2025年10月7日

**国内におけるオーソライズド・ジェネリックの製造販売承認の承継  
および販売移管に関するお知らせ**

Meiji Seika ファルマ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：永里 敏秋）は、子会社の Me ファルマ株式会社\*（本社：東京都中央区、代表取締役社長：濱島 安男）が、日医工株式会社（本社：富山県富山市、代表取締役社長：岩本 紳吾）が製造販売しているオーソライズド・ジェネリックであるフェキソフェナジン塩酸塩錠「SANIK」、クロピドグレル錠「SANIK」およびロレアス®配合錠「SANIK」（以下、3製品）の製造販売承認を承継することをお知らせします。

3製品は、サノフィ株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：岩屋 孝彦）が許諾し、日医工が国内における販売および医療機関への情報提供活動を実施しておりました。2026年4月1日に製造販売承認を Me ファルマに承継して以降は、国内における販売および医療機関への情報提供は、Me ファルマが実施いたします。なお、製品の承継に伴う販売名の変更はございません。

Meiji Seika ファルマは、抗菌薬のトップサプライヤーとして耳鼻咽喉科を重点診療科と定め、長年にわたり情報提供活動を行ってきました。この度、3製品の中でもアレルギー性疾患治療剤でもあるフェキソフェナジン塩酸塩錠「SANIK」を承継することは、現在日本において国民病とも呼ばれている花粉症における治療薬のラインアップを強化することにつながります。幅広いラインアップの情報を医療関係者に提供することにより、医療関係者が複数の選択肢の中から最適な治療薬を患者さんに応じて選択いただける環境を整えることを目指してまいります。

現在、Meiji Seika ファルマは医薬品の安定供給の実現に向け「新・コンソーシアム構想」を掲げ、本構想に参画する複数の後発医薬品企業により生産拠点の集約等を推し進めています。これにより、生産効率を向上させるとともに、相互に品質管理体制を点検・確認することで、参画する後発医薬品企業全体における品質管理体制の底上げを図ります。

更には屋号の統一と販売品目の集約を実現させることで後発医薬品の安定供給実現と、参画する後発医薬品企業全体の収益構造の改善を目指します。販売を開始する3製品も、将来的には「新・コンソーシアム構想」において最適な生産拠点や販売方法を検討することで新・コンソーシアム構想の価値最大化に貢献できると考えています。

【対象製品】

承継および販売移管日	販売名	薬効分類
2026年4月1日	フェキソフェナジン塩酸塩錠 30mg 「SANIK」	アレルギー性疾患治療剤
	フェキソフェナジン塩酸塩錠 60mg 「SANIK」	
	クロピドグレル錠 25mg 「SANIK」	抗血小板剤
	クロピドグレル錠 75mg 「SANIK」	
ロレアス®配合錠 「SANIK」	抗血小板剤	

※ Me ファルマ プレスリリース：

<https://www.meiji-seika-pharma.co.jp/me-pharma/pressrelease/01/pdf/251007.pdf>

以上